

# 和歌山県立医科大学附属病院 腎臓内科

## 当科の特徴

当科は、健診や学校検尿における検尿異常から、腎不全期の管理、透析導入、維持透析管理、腎移植管理など、腎臓病に関するすべてのステージの総合診療を行っているのが特徴です。

腎臓専門医、透析専門医のスペシャリストはもとより、内科全般を指導できる体制をとっています。大学病院以外にも和歌山県下の中核病院で指導医のもと、十分な症例を経験できる体制も整えています。常に最新知見による治療を心がけ、腎臓病の早期診断および寛解、透析導入遅延のみならず、心血管病をはじめとした腎不全合併症を進行させないような管理を習得することができます。卒後1、2

年目の臨床研修（初期研修）終了後、3年目から新専門医制度に準拠した「和歌山県立医科大学内科専門研修プログラム」に従って研修を行っています。

基本領域の専門医取得後は腎臓専門医、透析専門医を目指して研修を続けていきます。

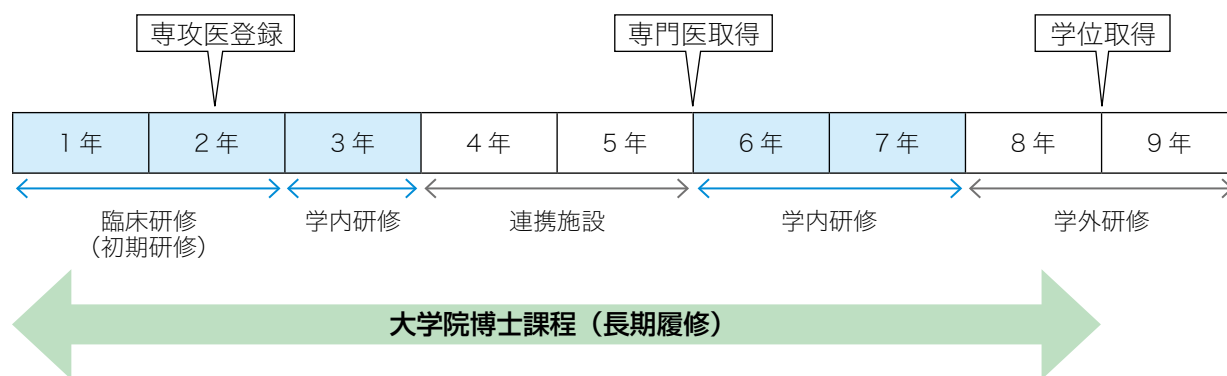
なお、学位取得希望者は大学院に入学し、当教室研究室での指導のもと、研究テーマに沿った研究を行うことができ、学位を取得することができます。



## ローテーション例

### 一般枠コース

※ □ は学内研修

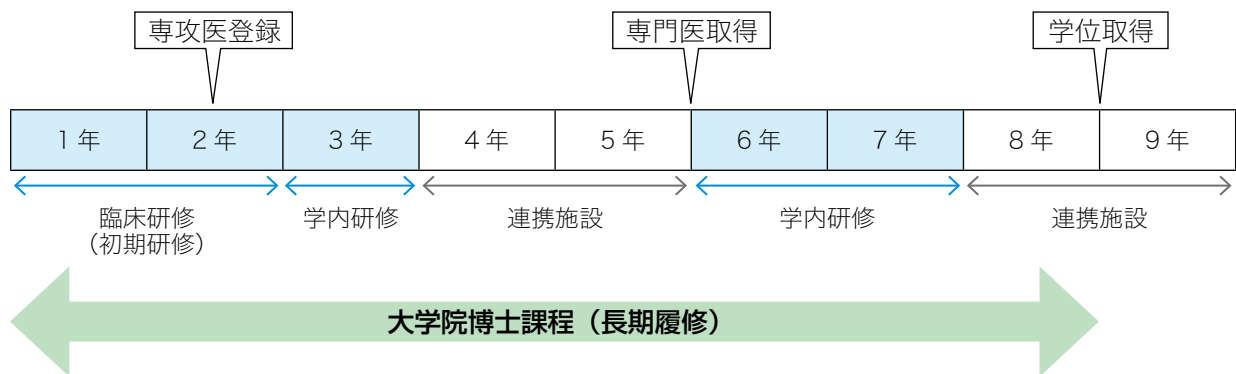


一般枠医師については原則プログラムのローテーションに従って研修を行います。

詳細は卒後臨床研修センター HP (<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo/program/tmp-kouki.html>) に載っています。

総合内科専門医取得後は、卒後6、7年目にサブスペシャリティ専門医を取得予定です。

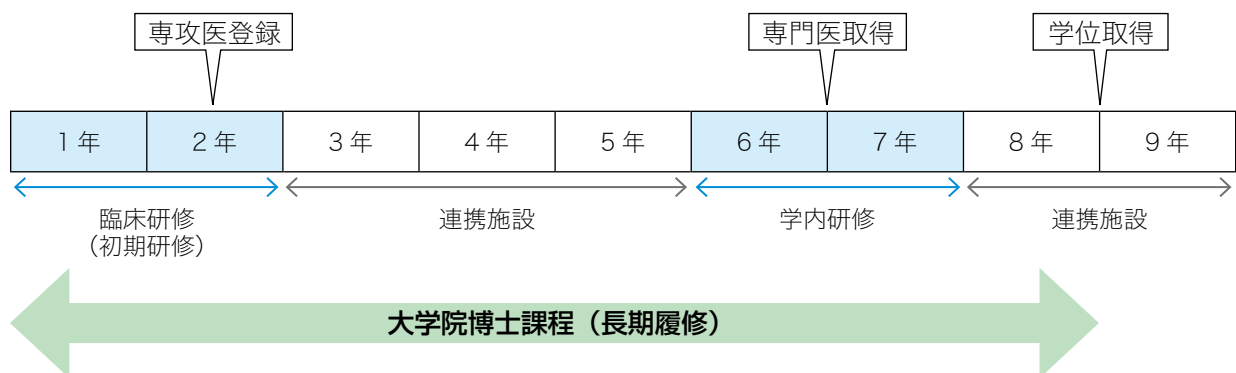
### ローテーション例 県民医療枠コース ※ □ は学内研修



県民医療枠コースでは3年目は基幹施設である和歌山県立医科大学附属病院で研修を行います。4年目、5年目は地域中核病院である紀南病院、新宮市立医療センター等で研修し、基本領域専門医取得後は大学に戻って、腎臓内科学における研究や高度な医療研修を行います。8、9年目には地域中核病院で後輩の指導を行いながら、学位取得、地域中核病院で活躍できる医師を目指します。

希望者は大学院に入学し、9年目には学位を取得する予定です。

### ローテーション例 地域医療枠コース ※ □ は学内研修



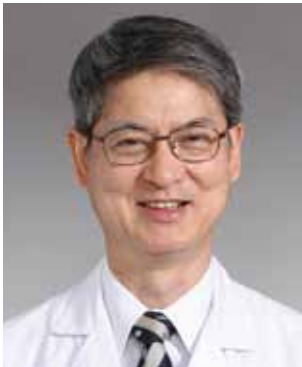
地域医療枠コースでは臨床研修（初期研修）の後、3年から5年目まではへき地医療拠点病院等で研修を行います。6、7年目には大学に戻ることによって高度な医療にも触れる機会があり、8、9年目にはへき地医療拠点病院等で後輩の指導にあたりながら腎臓内科のみならず、総合医や家庭医としてのスキルを磨いていきます。

## 研修目標

当科の研修は以下の能力を身につけることを目標としています。

1. 健診や学校検尿における検尿異常から、腎生検が施行でき、腎臓病を早期に診断できる。
2. 慢性腎炎、ネフローゼ症候群に対して適切な治療を選択し、行うことができる。
3. 保存期腎不全の管理として透析遅延のための適切な治療、管理が行える。
4. 急性血液浄化療法の適応を判断し、施行できる。
5. 透析導入に対して腎代替療法の全てを患者に説明し、選択できる機会を与える。
6. 血液透析においてシャント作成を行い、適切な管理ができる。
7. 血液透析および腹膜透析の適正な維持透析管理が行える。
8. 長期透析患者の合併症管理ができる。
9. 腎移植患者の適正な管理が行える。

## 教授からのメッセージ



### 重松 隆 教授

2006年4月より第3代教授として赴任しました。内科学講座の再編の動きとも重なり、腎臓内科と改称し現在に至っています。現在当科では、蛋白尿や

血尿の精査からネフローゼ症候群や急速進行性糸球体腎炎などの経皮的腎生検に代表される腎炎診療から、急性腎障害や慢性腎臓病の治療から透析療法の開始、さらには腎性貧血や腎性骨症や心臓病・シャントトラブルなどの透析合併症の対策まで対応しています。

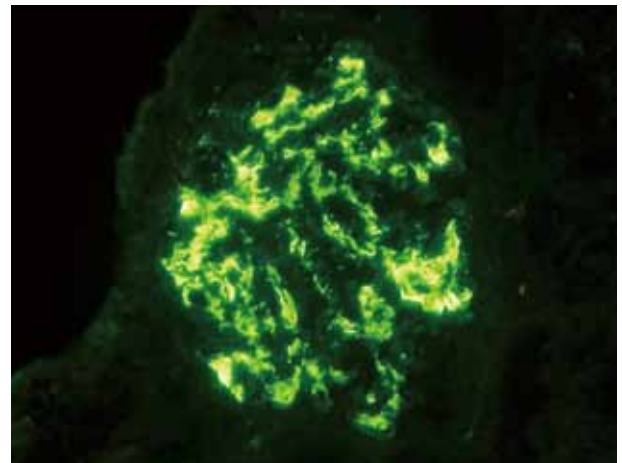
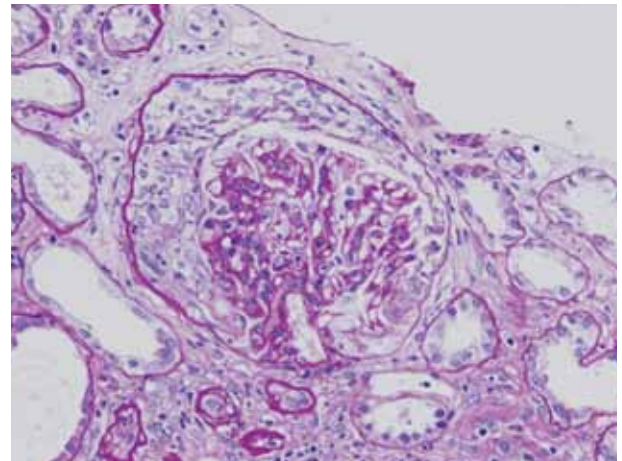
血液透析・腹膜透析・腎移植管理まで行っており、文字通り腎臓病のAからZまで対応できる組織に発展しています。教育・研究面では和歌山県立医科大学大学院医学研究科 腎臓・体内環境調節内科学として腎機能低下に伴う生命現象の研究を行っています。その中心的な研究テーマは腎臓を中心とした他臓器との関連性です。特に骨組織と心臓血管系との相関には興味をもって進めています。

興味のある方は是非当科のプログラムにご参加ください。

## 経験目標

当科では以下の経験を積むことを修了条件としています。

1. 腎生検 50例以上
2. 慢性腎炎、ネフローゼ症候群治療 50例以上
3. 急性血液浄化療法 50例以上
4. シャント作成 50例以上
5. 血液透析管理 100例以上
6. 腹膜透析管理 30例以上
7. 腎移植管理 10例以上



## 当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	総合内科専門医	腎臓専門医	透析専門医
和歌山県立医科大学附属病院	6名	9名	9名
紀南病院	2名	2名	2名
新宮市立医療センター	0名	0名	1名
公立那賀病院	0名	0名	0名
済生会和歌山病院	0名	1名	1名

腎臓病の多くは検尿異常から始まり、数年から数十年かけて進行するものが多くあります。一方、急性腎障害などの急性血液浄化においては救急疾患を扱うものが多くあります。当科では検尿異常の段階の腎臓病の診断から治療、さらに腎不全期の透析医療、移植管理医療に至るまでのすべての段階の腎臓病診療を総合的におこなう診療科です。そのため、患者さんの人生に長く、じっくり向き合っていける大変魅力的な分野でもあります。

和歌山県立医科大学附属病院腎臓内科では教授である重松隆を筆頭に、各教員それぞれが教育に対する熱意、情熱を持ち、臨床の場においても腎臓病総合診療のスペシャリストが揃っています。

